

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	08	02	03	0401	生活道路整備事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-2	生活基盤の充実			
	施策	1	道路環境の充実			
目的	地区要望を踏まえた道路の整備					
対象	整備が必要な市道、市道利用者（車両、歩行者、沿線住民）					
意図	安全で快適な通行が可能になる。					
事業概要						
○平成26年度(71路線) 新設改良(45路線)、現道舗装(13路線)、側溝整備(10路線)、融雪設備整備(1路線)、防雪柵(2路線)						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	新設改良事業実施路線	路線	計画	54	32	
			実績	54	45	
②	現道舗装事業実施路線	路線	計画	27	7	
			実績	26	13	
③	側溝整備事業実施路線	路線	計画	11	4	
			実績	11	10	
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	新設改良整備（完成）延長	k m	目標	5.0	2.9	
			実績	4.3	5.4	
②	現道舗装事業（完成）延長	k m	目標	3.0	0.8	
			実績	3.7	1.8	
③	側溝整備事業（完成）延長	k m	目標	1.0	0.4	
			実績	1.1	1.6	
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
【H26成果指標の設定根拠】 地域からの要望路線及び施策により整備を要する路線、完成する路線数、事業費等を検討し、事業路線数と完成延長を決定しているため。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	市管理道路の整備のため、妥当である。
有効性	成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない	本事業は、市道の新設改良、側溝整備を行うものであり、整備後は地域要望や道路環境を満足させた水準となることから、さらなる向上は難しい。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	事業を実施するうえでは、計画・設計・説明会・関係機関協議・用地取得・工事積算・工事監督業務など多岐にわたるが、現在でも効率的な事業の執行に努めている。 また、外部委託を行なうなど人件費の削減に努めているが、守秘義務等の問題があり、外部委託にも限界がある。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	市道は不特定多数の人や車を利用するものであり、受益者を特定することは出来ない。
総合評価		
道路整備に対する要望が多数寄せられている状況から、今後も継続的な整備が必要である。		

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	08	02	03	0401	生活道路整備事業

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			784,828		784,828
財源内訳	国・県		237,963		237,963
	地方債		429,594		429,594
	その他		46,692		46,692
	一般財源		70,579		70,579

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部経営方針における目標
安全、安心で快適な生活基盤の充実に努めます。

事業開始の背景・経緯
交通の中心が車になったことにより、道路整備が求められるようになった。

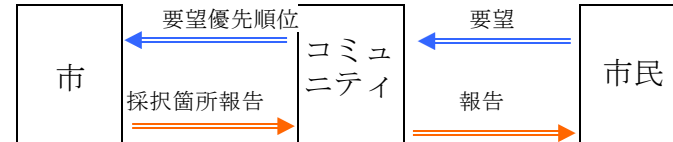
事業概要

○平成26年度(71路線)
新設改良(45路線)、現道舗装(13路線)、側溝整備(10路線)、融雪設備整備(1路線)、防雪柵(2路線)

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

・工事の計画・設計は、地域住民の意向を十分把握し、実情に即したものとなるよう、柔軟に見直しを行なうなど、地域のニーズに応えとともに、併せてコストの縮減に努める。
・要望路線中に家屋がない場合には必要性を再確認し、延長の縮小・整備内容の変更などを提案することにより、効率の良い整備事業に努める。

《事業手法の詳細》



- 新設改良 事業費 507,361千円
45路線 完成延長 L=5.38km
- 現道舗装 事業費 62,276千円
13路線 完成延長 L=1.75km
- 側溝整備 事業費 91,877千円
10路線 完成延長 L=1.56km
- 防雪柵整備 事業費 74,121千円
2路線
- 融雪設備整備 事業費 7,236千円
1路線
- 路面点検調査 事業費 20,477千円